

複数工程を横断管理

東レエンジD 物流システム投入 外食向け

東レエンジニアリングDソリューションズ（東京都中央区、中野亮社長）は25日、物流管理システム「トノプス」を発売、9月に発売すると発表した。一般的な物流関連システム

は出荷や配送など工程ごとに個別管理するものが多いが、新製品は複数工程を横断的に管理できるようにした。製造業や小売業、セン

トナルキッチンを持つ外食産業向けなどに販売し、2023年度に3億円、25年度に5億円の販売を目指す。トノプスは倉庫内の効



率的な出荷作業手順の提示や、配送ルート編成などに人工知能(AI)を活用。誤出荷防止の内容物確認にはAIの画像処理技術を活用

トノプスロジスティクス画面サンプル
し、誤出荷を30%削減する事例も出た。また配送管理では出発・到着時刻など基本的な条件に加えドライバーの勤務時間を考慮した配送ルートを提供